

コープきんき

コープきんき事業連合会、コープしが・京都生協・ならコープ・よどがわ市民生協・バルコープ・いずみ市民生協・わかやま市民生協の近畿7生協を会員とする生活協同組合連合会です。

第37号

発行/2010年7月31日・通巻37号
生活協同組合連合会
コープきんき事業連合会
〒532-0011
大阪市淀川区西中島5丁目
13番9号 新大阪MTビル1号館
TEL06-6838-4556

発行責任者/元木 勲
発行事務局/理事会室
e-mail: info@kiniki.coop

商品検査センター 「コープ・ラボ」がオープンしました。

2010年7月16日(金)、商品検査センター「コープ・ラボ」の開所式を行いました。

開所式には、ご来賓と会員生協の理事・役職員を合わせて52名が出席し、農林水産省近畿農政局消費安全部長・和田務様、和泉市長・辻宏康様、堺市市民生活部理事・櫻井和代様、大阪府公衆衛生研究所衛生化学部部長・尾花裕孝様、コープきんき虹の会を代表して株式会社菱食取締役専務執行役員・福原淑文様よりご祝辞を頂きました。



大阪いずみ市民生活協同組合
藤井理事長挨拶



和泉市長・辻様



農林水産省近畿農政局・
和田様



コープきんき事業連合
元木理事長挨拶



商品検査センター「コープ・ラボ」は、大阪いずみ市民生協の新・商品検査センターをコープきんきと大阪いずみ市民生協が共同で運用します。

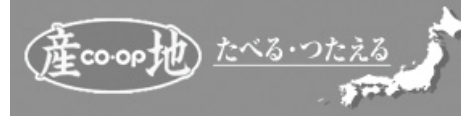


CONTENTS

- 商品検査センター「コープ・ラボ」オープン p1
- 「第1回組合員理事懇談会」開催 p6
- 第7回通常総会を開催しました p2
- 「第20回商品開発組合員懇談会」開催 p7
- 商品検査センター機能紹介 p4
- 2010年度第1四半期の事業到達 p7
- 商品検査センター見学案内 p5
- コープ産地がみえるシリーズ
組合員の声の実現 p8

商品の紹介

コープきんきで、取り扱っている商品をご紹介します。



コープ産地がみえるシリーズ

たべる・つたえる“これからの食”を食卓から

「コープ産地がみえるシリーズ」は、主原料産地のわかる加工食品シリーズです。このシリーズは、産地への理解を深め、商品を購入していただくことを通じて、産地との安定的・継続的な関係づくりをめざしています。



九州のカットほうれん草

九州産のほうれん草を、使いやすく約4cmにカットし、湯通しした後にパラ凍結しているのので使いたいときにスグ使えます。また産地を限定した商品で契約農家とは定期的に栽培状況を確認しています。



九州の芋けんぴ

スティック状にカットした南九州産の黄金千貫芋を、植物油の混合油でカラッと揚げ砂糖で味付け。昔から親しまれています。



広島のレモン果汁100% (ストレート果汁)

日本一のレモン産地、広島県で栽培されたレモンを12~5月頃に搾汁しています。ストレート果汁なので、レモンの自然な風味が生きています。料理や飲み物、ドレッシングなど、幅広く便利に使えます。



北海道のそのまま枝豆

北海道十勝産の枝豆を収穫後、塩味をつけて茹で急速凍結しました。解凍してそのまま召し上がれます。



日本のコーンスープ

北海道産とうもろこしの甘味と風味が生きています。牛乳を加えて温めるだけでおいしいコーンスープです。2~3人前です。

組合員の声の実現

毎月、寄せられた声に基づき、コープきんき内部で「声の実現委員会」を開催して、実現のための検討を行っています。

商品名	組合員の声	対応
肉巻きおにぎり 140g (1個)	「表記の記載どおりに調理しても温まらない。パサパサになりおいしくない。」	4月1日製造分より、包材の切り込みラインの「ここまで」表示を大きくし、「ライン以上に切り込みを入れると蒸気が逃げ、上手く温まらない場合がございます。」と包材に記載しました。
中華料理の素 300ml	「フタが固くて開けにくい」「フタのふちが薄く鋭利で危ない」	軽い力で開けられるよう改善します。 ※ 2010年10月頃
えびたっぷり 香草ステーキ 280g (4個)	袋に調理方法が記載されていません。不親切です。	6月3回の企画分より包材裏面に調理法を表示しました。表示内容は、「フライパンを熱して多めの油を敷き中火で片面に色よく焼き目をつけてください。焼き色が付いたらひっくり返し、フタをして弱火でじっくり蒸し焼きにしてください。」
えびクリーミーコロッケ 8個入 (400g)	揚げたが、中身が出てしまい(パンク)きれいな形で揚げられない。	包材の調理方法を分かりやすく見直し(コロッケと油の適正量、揚げ温度と油の温度の見方など)、上手に揚げるコツを追記します。 ※ 2010年8月頃
小さなえび入り棒餃子 180g (20個)	カタログで見るより小さくてがっかりしました。1個あたりの大きさを書くとかの工夫をしてほしい。	商品説明文に、「1つ約9gの小さな棒餃子です。・・・」の表示に加え、1個あたり約6cmの表示をおこないます。
緑豆もやし	お届けされる形態がわからない。カタログに包材を載せてほしい。	紙面スペースに限りがあるため、商品情報に「この商品は紙袋に入っています」の表示を7月1日より行いました。
カビ取り洗槽クリーナー	1歳8ヶ月のお子さんが簡単に開封して中身をなめてしまった。	外箱が差込だけになっていました。5月2回分よりテープ止めをおこないました。
花柄ショーツ	中身が透けて見える包装だった。改善してほしい。	現行は乳白色の包装ですが、袋を商品に密着させると中身が見えるという指摘であった可能性があります。現在の在庫がなくなり次第(10月頃)、中身の見えない包装に切り替えます。
ワイドグリップハンガー	グリップを握った時、部品の間指が挟まってしまう。	グリップの付け根部分を改良し、可動部に直接、手や指が当たりにくい形状へ改良します。9月2日よりリニューアル。

第7回通常総会を開催しました

2010年6月12日(土)千里阪急ホテルにおいて、第7回通常総会を開催しました。

総会は、代議員55名、オブザーバー26名、ご来賓18名、きんき役職員を含めて154名の参加で開催されました。ご来賓の厚生労働省近畿厚生局健康福祉部長の横尾年裕様、農林水産省近畿農政局消費・安全部長の和田務様、日本生協連専務理事の矢野和博様よりご祝辞を頂戴しました。

第1号から第7号議案の審議をおこない、すべての議案が満場一致で可決されました。



総会の様子



近畿厚政局長 横尾年裕、近畿厚政局長 和田務、日本生協連専務理事 矢野和博、元専務理事 元木謙一

代議員の発言要旨
 ならコープ 松村由美 代議員



「生協として 取り組むべきこと」

平和やよりよい環境、安全な食の確保といった、よりよい暮らしを期待する声に応えるために、生協として何ができるのか？この大きな課題に取り組むために、コープきんきに集う協会の仲間たちが力を合わせ、知恵を寄せ合うことはとても大事なことです。「コープベーシック商品」をひろく普及して組合員のくらしを支えること、組合員の心理にも敏感に対応し、買い頃の値段帯、特徴をもった商品を適切に適時に供給することが必要です。併せて、その特性をきちんと組合員が感じ取れるように情報発信も必要です。「アレルギー対応商品企画の共同チラシ」は、これぞ協会の力だと期待し、頼もしく感じています。各生協の産直商品などの取り扱いも大切に育て、うまく取り入れたい、商品の充実と品質向上ができるようにしたい。コープきんき商品検査センターの稼働、商品検査の強化に期待しています。食料自給率の向上、環境配慮型商品の普及など、様々な社会的役割を發揮すべきと思います。商品事業を協同で進めていくコープきんきにもその役割を期待したい。

大阪よどがわ市民生協 佐藤里香 代議員



「2010年度基本方針『Step Up きんき』」

消費者の低価格志向が強まり、「くらし応援」のとりくみである「値下げ」・「EDLP」商品への期待は大きくなっています。品質保証体系の再構築がすすみ、組合員の苦情発生を迅速に把握し対応できるように、生協の信頼回復がすすんでいます。商品検査センターには、厳しい検査と情報発信の充実をお願いします。組合員と商品をつなぐ大事な「売り場」の充

コープしが 大原真理子 代議員 「声を生かした 価値ある商品を！」



組合員の暮らしは厳しい状態が続いています。くらし応援、EDLP商品の普及、コープベリックの誕生は大変有難く感じます。価格の追求は最も重視されるべき点ですが、組合員は価格+αの価値を求めています。生協商品の最高の価値は産直商品にあると思います。農産・畜産物の産直企画の最終決定は会員生協にあるという従来の基本路線を維持継続させ、会員生協主軸の共同をお願いします。組合員の「声」をつなぐ施策として、組合員の声対応システム、アンケートの実施、「声」実現委員会、商品開発組合員懇談会、組合員理事懇談会のそれぞれの機能を充足させ、「声」を生かして、またそのプロセスも見えるように知らせる活動も積極的に取り組み、従来のそして将来の生協ファンのために価格+αの価値ある商品づくりを期待しています。

京都生協 平野裕子 代議員



「コープきんきの 要望と期待」

世代的・地域別・嗜好別のカタログ発行の検討など、組合員にどのようなカタログをお届けして利用を促進するのが課題です。カタログの総量を増やさず、むしろ少なくしていく取り組みが求められています。一層の工夫と努力を要望します。家計が厳しい中で、「くらし応援宣言」など組合員のくらしを守る取り組みを継続するとともに、高齢者にも見やすい商品案内への改善や「eフレンド」機能のさらなる充実を要望します。3生協による店舗事業の連帯は少しずつ成果も出ています。共同仕入れ部門の拡大、システムや運営面での統一による間接コスト削減を急ぐことが大切です。店舗事業の独自性を大切にしながらも、各生協がより積極的な立場で協議に参加され、一致点が見出されることを期待します。身近に商品の開発や改善に参加するためのモニター活動の推進や、組合員の声を生かす取り組みが今後ますます求められます。組合員の声を生かすための更なる工夫を要望します。

実度も高まっています。利用アップにつながる「売り場」での調理アドバイスの拡大をお願いします。コープベーシック商品企画がスタートしました。組合員にわかりやすく伝え生協の自信商品として支持される企画に期待します。アレルギー対応商品企画についての要望は子育て世代の組合員から多くあります。聖週お届けになり「うれしい」という声とともに、「品目をもっと増やしてほしい」という要望も高くなっています。生協に期待して加入された方に未長く利用してもらうには、最初に生協の魅力に出会ってもらったことが大切です。新規組合員向けの企画と情報提供を更に強化してください。

おおさかパルコープ 高瀬悦子 代議員



「これからの 商品企画について」

出産を機に食の安全、安心を求めて加入する20代、30代の組合員、子どもが巣立った後の夫婦2人暮らし、または1人暮らしの組合員も増えています。そうした組合員が希望するのは1人、2人に対応できる商品です。その組み合わせによって3人家族も4人家族も対応できる、というようにしていただきたい。高齢者対策が必要です。今は何の支障もないけど10年後、20年後も生協で困ることなく注文できるようなシステム作りをしてほしいという声も出ています。そうしたニーズに応えるためにも少人数家族用や高齢者用の商品案内があると良いのではないのでしょうか。様々な生活スタイルに応じた商品企画、商品案内を作るのは大変ですが、生協が今後も生き残っていく力となると思います。

大阪いずみ市民生協 赤穂郁子 代議員



「組合員と商品」

「くらし応援宣言」企画による価格の値下げや価格の据え置きは、組合員のくらしを守る取り組みになっています。組合員の求めるものは本当に多種多様で、これについても様々なものがあり



採決の様子

採決結果

議案番号	議案内容	反対	保留	賛成
第1号議案	2009年度事業報告、決算報告・剰余金処分案承認の件及び監査報告	0人	0人	53人
第2号議案	2010年度事業計画・収支予算案決定の件	0人	0人	53人
第3号議案	役員選任の件	0人	0人	53人
第4号議案	役員報酬決定の件	0人	0人	53人
第5号議案	定款の一部改定の件	0人	0人	53人
第6号議案	役員選任規約の一部改定の件	0人	0人	53人
第7号議案	議案議決効力発生	0人	0人	53人

新しく選任された役員	
(理事)	元木 謙一 (常勤)
専務理事	門脇 正行 (常勤)
常務理事	上田 正三 (常勤)
理事	西山 美司 (非常勤)
理事	千葉 正司 (非常勤)
理事	山本 祐司 (非常勤)
理事	村田 三男 (非常勤)
理事	森 宏之 (非常勤)
理事	小田 剛一 (非常勤)
理事	小西 光治 (非常勤)
理事	大前 晶平 (非常勤)
理事	池所 清司 (非常勤)
理事	藤井 裕夫 (非常勤)
理事	勝山 暢夫 (非常勤)
理事	上田 欣士郎 (非常勤)
理事	田中 信治 (非常勤)
(監事)	小川 和生 (常勤)
監事	藤本 宏美 (非常勤)
監事	水永 亨 (非常勤)
監事	高野 安雄 (非常勤)
監事	西 誠 (非常勤)
退任された役員	

北村 英和氏

商品検査センター 「コープ・ラボ」 機能紹介

商品検査センター「コープ・ラボ」は、コープきんぎが進める「品質保証体系」のなかめとなる施設です。「供給する商品の安全性を確認する」とともに、会員生協の組合員や職員に「食の安全学習や関連する情報の提供をおこないます。」



商品検査センター 「コープ・ラボ」の検査機能

微生物検査

微生物による食品の腐敗や変敗、食中毒を未然に防止するため、商品の新規取扱時や抜き取り検査を行っています。検査結果は取引先にフィードバックし、品質向上に役立てています。



食品添加物検査

自主基準により、使用を制限している添加物の中で、一般的に使用量が多い保存料、発色剤、着色料などの検査を中心に実施しています。商品が仕様書どおりか、また添加物が使われている場合、使用基準に適合しているか検査しています。



残留農薬検査

野菜、米、冷凍野菜、果物、農産物を主原料とした加工品の農薬検査を実施しています。



動物用医薬品検査

牛肉、豚肉、鶏肉、牛乳、たまご、うなぎなどを対象に抗生物質、合成抗菌剤やホルモン剤などの検査をしています。



PCR検査

大豆、とうもろこし、じゃがいも、およびこれらを原材料とした加工品について遺伝子組換え原料の使用の有無を検査しています。コシヒカリへの多品種米混入有無の偽装を受けて、米の品種特定の検査をしています。食肉原料の偽装問題を受けて、牛、豚、鶏、羊、馬、兎原料肉100%使用表示商品のミンチ、ハンバーグ、ミートボールなどの畜種判別の検査をしています。



特定原料検査

食品に含まれる特定原材料(小麦、乳、卵、そば、落花生)の検査を行い、表示内容に問題がないか検証しています。

重金属、微量元素検査

食品中(近海魚やお米など)のカドミウムや鉛、水銀などの重金属検査を実施します。微量元素検査とは、栽培地の土壌条件の違いなどによって生じる微量元素の含有量の差異をもとに産地を判別する技術です。(2011年度中の開始を目指しています)

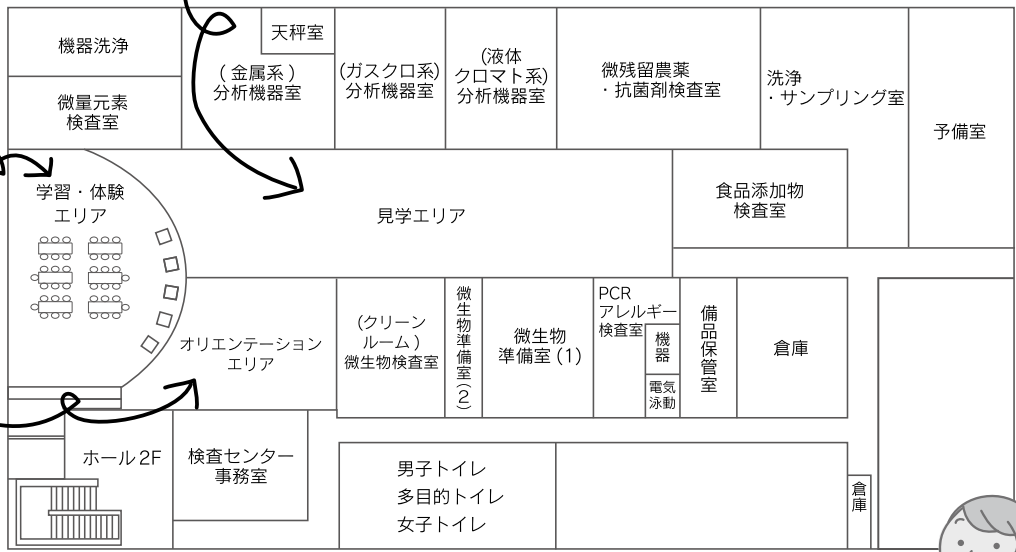


商品検査センター「コープ・ラボ」の見学のご案内

商品検査センター「コープ・ラボ」には、生協商品が届くまでの概要を説明するオリエンテーションエリア、実際の検査を展示物とともに見ていただく見学エリア、そして衛生学習や商品の手作り体験などの学習・体験エリアなど、見学施設としての機能も備えています。



見学エリア 検査項目ごとに検査ビデオでの説明と実際の検査の様子を見学することができます。設置されたカメラのズームで、モニターには検査ライブが映し出されます。



学習・体験エリア

生協商品についての学習(商品作りの体験、ミニ学習会など)、衛生についての学習(ブラックライトによる手指の汚れの実感、手の洗い方など)、食生活についての学習(食事バランスガイドのチェックなど)ができます。

オリエンテーションエリア

商品検査センター見学のガイダンスや、生協商品の生産、流通、販売を通じての安全・安心の概要をビデオで説明します。

見学のお問い合わせ

商品検査センターの見学は、9月からの開始になります。現在、見学の受入の準備中です。準備が整い次第、ご案内します。

2010年度第1四半期の商品検査実施状況

検査区分	検査項目	品目数	検体数	自主基準外
新規検査	微生物検査	339	1276	6
	食品添加物検査	81	86	1
	輸入加工食品残留農薬検査	10	10	0
	加工食品アレルギー検査	67	67	0
	加工食品畜種検査	1	1	0
流通品検査	CO・OP商品微生物検査	710	710	3
	NB商品微生物検査	1176	1176	11
	農産物残留農薬検査	75	75	0
	中国関連食品残留農薬検査	27	27	0
合計		2486	3428	21



※商品検査の判定は、自主基準に基づいておこなっています。基準外であっても商品の安全性に問題はありません。
 ※新規商品検査において基準外になった商品は供給を中止しています。
 ※流通品検査において基準外になった商品は原因調査と対策を確認しています。

第1回組合員理事懇談会を開催しました。

2010年7月15日(水)、チサンホテルにおいて「10年度第1回組合員理事懇談会」を開催しました。

元木理事長から、開会のあいさつと併せて、大雨による農産物への影響について、会員生協総代会・コープきんぎ総会を終えて2011年に向けたガバナンス整備の課題について、第1四半期の共同事業の進捗状況(アレルゲン共同チラシやギフト事業のスタート、インターネット事業での独自の共同基盤の構築へのとりくみや書籍CDサイトの開設)について、情勢(参議院議員選挙での消費税増税の論議や景気動向)について、スパー業界や全国生協の事業概況、コープきんぎの状況(世帯利用高の低下、GPRの低下)と第1四半期のとりくみ(MD改革、売り場・アイテム数の見直し、商品開発)について、商品検査センター開設、虹の会総会の開催について報告がありました。

上田常務理事から、第1四半期の事業到達と第2四半期及び下期の課題について、中村統括より食品事業のMD改革のとりくみについて報告し、ご意見をいただきました。佐古統括より、産直政策の改訂及び生鮮強化対策について報告し、質疑をおこないました。



いただいたご意見

《商品の価値について》

・NB商品へのシフトが顕著とありますが、コープ商品がNB商品の「後追い」になっているのではないのでしょうか。生協としての付加価値をつけて、独自のものを開発してほしい。NB商品の利用からコープ商品へのシフトも難しい面があります。価格が品質でなく、両立したものを開発してほしい。

・生協らしい「+α」の価値をどのようにとりくむのが、大切です。「生協らしい」ものが商品案内紙面で目に付きません。

《商品案内紙面の改善について》

・情報誌として、食品の基本情報をきちっと載せてほしい。価格もユニット価格なのか単品当りの価格なのか、利用する際のポイントを明確にしてほしい。カロリー表示もグラム当りでなく1個当りで表示することが、健康志向からも望ましい。買う立場から、情報の整理をしてほしい。

・「上手な解凍の仕方」の記事はありがたかった。冷凍魚はパサパサのイメージがあります。若い人だけでなくシニア層の組合員もそう思っているの



・表紙・裏表紙に低価格だけでなく、季節感のあるものを掲載してほしい。子供の世代は季節感が乏しくなっています。情報も添えてほしい。

・頻繁に紙面が変わるのも困ります。変えた時は、「ここをこう変えました」という情報提供が必要ではないでしょうか。

・商品案内紙面については、これまで意見も言ってきました。ようやく9月から変わるといいますが、聴く場があっても、意見が生かされていないのではないのでしょうか。もうすこし見える形で、意見を生かしてほしい。



商品開発組合員懇談会を開催しました。

2010年7月14日、おおさかパルコープにて「第20回商品開発組合員懇談会」が開催されました。

全体会では、第1四半期の事業・商品活動の到達と今後の取り組みについて報告がありました。特別報告として、沖縄県恩納村漁協・比嘉義規様と(株)井ゲタ竹内・竹内周様から「もずく養殖と里海づくり」の報告がありました。



特別報告「もずく養殖と里海づくり」

お取引先と日本生協連のご協力により、きんぎ共同開発・改善商品、秋の展示試食会対象商品、秋の期間限定学習商品、日生協の新商品など73品目の展示試食を実施しました。「パクパクさんまのチーズはさみ」など料理提案に関心が集まりました。



もずくの試食

分散会では、恩納村漁協の皆さんとの交流を行いました。参加された組合員から、「海の世界保全の大切さがわかった、感銘を受けた、誇りに思う」など大きな共感を呼びました。「煮物惣菜シリーズ」の開発をテーマにした交流も行い、次の見直しや品揃えに向けて意見を出し合いました。



分散会の様子

2010年度 第1四半期の事業到達

宅配事業

《宅配 食品事業》

供給高、荒利益高、世帯利用高とも予算・前年を下回っています。世帯利用高の前年比は4月95.2%、5月96.6%、5月94.4%と低下しています。

	実績	予算	昨年実績	予算比	前年比
供給高(百万円)	40,309	41,444	41,180	97.3%	97.9%
荒利益高(百万円)	11,043	11,429	11,501	96.6%	96.0%
利用人数	9,617,894	9,685,694	9,365,038	99.3%	102.7%
世帯利用高(円)	4,191	4,279	4,397	97.9%	95.3%

注) 数値はコープきんぎ7会員生協の合計です。

《宅配 非食品事業》

供給高、荒利益高、世帯利用高とも前年を維持しています。

	実績	予算	昨年実績	予算比	前年比
供給高(百万円)	7,112	7,115	7,087	99.9%	100.4%
荒利益高(百万円)	2,466	2,543	2,458	96.9%	100.3%
非食品利用人数	4,394,139	4,771,798	4,416,802	92.1%	99.5%
非食品世帯利用高(円)	1,619	1,491	1,604	108.6%	100.9%

注) 数値はコープきんぎ7会員生協+コープ北陸の合計です。

店舗事業

共同仕入部門の供給高(百万円)

	実績	予算比	前年比
加工食品部門	1,772	96.3%	98.2%
菓子部門	663	97.9%	99.8%

ギフト事業

母の日・父の日ギフト

	実績	予算比	前年比
供給高(百万円)	132	109.7%	130.2%

eフレンズ登録会員数

	実績	計画比	前年比
登録会員数(人)	268,598	99.8%	118.9%